

全議案承認される 平成26年度 通常総代会



発行所 斜里町商工会
〒099-4113 斜里町本町29番地8
電話 0152-23-2185
FAX 0152-23-0501
e-mail: shashoko@rose.ocn.ne.jp
発行日 平成26年7月1日
編集 広報委員会
責任者 神田裕治
印刷 (有) 斜里印刷

平成26年度斜里町商工会通常総代会が、5月15日(木)午後1時30分から、産業会館大ホールにおいて開催された。
事務局より定数の発表があり、総代会本人出席31名、委任状出席23名の計54名出席で、総代会成立が報告された。

議案書に先立ち、土橋商工会長が「今年は何といても消費税の引き上げ、さらに電気料金の値上げと、我々、中小企業・小規模企業にとつて、容易に価格に転嫁できない恐れがあり、国によるその指導の徹底が望まれるところであります。また、町内に置きましたは、引き続き町内の消費拡大を支援するため、プレミアム商品券発行等事業、愛町購買啓蒙運動を継続していくとともに、中心市街地のにぎわい創出のため、女性部青年部とともに、三位一体で活性化に取り組んでいきたいと考えております。昨年、弘前市友好都市盟約30周年の記念事業として、道の駅において、巨大アップルパイギネ

スを、100%斜里産小麦と弘前産りんごのコラボで製作しました。今春は、知床斜里町観光協会、斜里町農業協同組合と実行委員会をつくり、弘前さくらまつりにおきまして、斜里産の物産の販売と知床観光のPRを実施してまいりました。小さな一歩ではございますが、農商工連携あるいは、農業の六次産業化と弘前との経済交流の第一歩を踏み出したという風に考えております。特に、今年、小規模企業振興基本法の成立により、政策の光が一人一人に滞りなく行きわたることを期待するとともに、実感できる経営支援・巡回訪問を実施していく次第です。」と述べた。

この後、議長に元木誠二氏を選出し、第1号議案から第11号議案まで審議され、提案された議案すべてが異議なく承認された。

部会・委員会報告

5月16日 地域振興委員会
5月27日 広報委員会

日本政策金融
公庫普通利率
6月11日現在
1.40%~
2.90%

※返済期間、保証人・担保の有無等により利率は異なります。

S-1自慢まつり



雨にもかかわらず賑わいをみせたS-1自慢まつり

5月25日(日)、知床S-1自慢祭りinウトロ2014が道の駅うとろシリエトク敷地内で開催された。前日の24日にはウトロ市街地の清掃活動が行われ多くの方々が参加しウトロの街がきれいになった。25日当日はあいにくの小雨、そして気温も平年を大きく下回る寒い天候にもかかわらず、地場産食材を使用した絶品料理を堪能しに沢山の方々が来場、大いに盛り上がった。特に「シャリッとさん」の周りには沢山のちびっこ達が集まり一緒に記念撮影をしたり頭をなでたり、とても楽しそうだった。イベントは斜里吹奏楽団、ピエロ、MBAバトントワラーなどのステージ発表やホテル宿泊券等が当たる大抽選会などが行われるなど来場者の方々に大いに楽しませた。

今年には天候に恵まれなかったが来年はぜひ知床の春らしく青空のもと行われることを切に願う。(渡辺)

青年部・女性部

クローバー作戦

5月18日(日)青年部(音無悟部長)と女性部(片山真弓部長)は合同で町内の清掃事業「クローバー作戦」を行った。青年部9名・女性部15名が参加した。例年は役場を四つ葉のクローバーの中心として4グループがそれぞれ葉を回るように清掃活動をしている。昨年同様天候に恵まれず雨が降り気温は10℃を下回る過酷な状況の中、集まったゴミ拾いの精鋭達は2時間余りの清掃活動でゴミ袋(45リットル)5袋分のゴミを回収した。

今年で2年目となる音無部長は「ゴミ拾いをして私達の心もキレイになりました。これからも地域の為に頑張りたい」と今年も熱く語る。

今後の事業として、青年部は8月キャンプに向け、女性部は7月にあるオホーツクサイクリング出店に向け精力的に活動していく予定。これからも青年部・女性部の活動に目が離せない。(滝川)



町も心もキレイに

会員の状況

加入者

(株)ダイゼン 柴田 貢
 ・知床ころぼつくる 伊藤 毅

平成26年7月1日現在会員数 367名

『ふらっとナイト』 200回達成の金字塔!!



200回を迎えたふらっとナイト

6月13日(金)、道の駅しゃりにおいて、平成9年11月14日に始まったふらっとナイト(五十嵐一彦実行委員長)が、16年と8カ月続き200回目の開催を達成した。

今回は記念すべき開催ということで『広報しゃり』『北海道新聞』が記事として取り上げられ、ポスターや横断幕で前宣伝、また、町には特別な助成を頂き、各方面からのご協力により200回を盛り上げることとなった。今年に入ってからふらっとナイトの開催日は不思議と天候に恵まれず、今回も期待がもてそうもない天候だった。事実、当日は朝から雨が降り風も強く、関係者をやき

もきさせていた。ところが2時を過ぎる頃より天気が回復し、特設屋台村が始まる18時には、な・な・なんと快晴(よかった)。これこそまさに天の配剤。さわやかな6月の天候のもと記念すべきふらっとナイトとなった。

18時、商工会青年部・青年会議所・知床蕎麦打ちの会・斜里元祖でんぷん団子の会の屋台村がスタート。いずれも工夫を凝らした味自慢のメニュー。200回記念の特別価格ということも相まって、開店早々からお客さんがつめかけていた。また、3回行った無料の『ドン』菓子を作る



「こっち!こっち!」と賑わう餅まき



爆音が会場を沸かせていた。

19時すぎ、ちよっと遅れた記念の花火を合図にふらっとナイト史上始めて以来の一番の人数の中始まった(主催者側の談)。いつもの2倍のお買い物券との交換では長蛇の列、よさこいソーラン(びしゃせん)の演舞や知床流氷太鼓の演奏には多くの人だかりができていた。その中を斜里町応援ゆるキャラの「シャリッ」とさんが会場を盛り上げていた。また、ふらっとナイト参加店4店でお買い物して『幸運(紅白)まんじゅう』をプレゼントする企画もありお店も賑わったようだ。

20時10分、『幸運の餅まき』を始めめる前に、五十嵐実行委員長より200回を記念し挨拶、引き続き馬場町長・高橋商工会副会長から祝辞の挨拶。その中で町長からは「基本的に野外のイベントということで天

候に左右されやすく、お客さんの少ない時も多々あったと思われるが、実行委員会側はよく頑張ってくれてくれた」、高橋商工会副委員長からは「斜里町中商店街の賑わいを図る為よく頑張ってくれた」と両氏よりねぎらいの言葉を頂いた。その後、挨拶の最中も今か今かと待ちわびた熱気で溢れかえる中、『幸運の餅まき』が行われ、撒かれるたびに大きな歓声が響き渡り、一番の盛り上がりとなった。

その後、クイズなどの抽選発表・じゃんけん大会・ふらびんご大会と進み200回目のふらっとナイトが多くなると関係各位のご協力のもと無事、終了した。

来ていただいた人の笑顔と励ましの言葉を胸に「ふらっとナイト物語」はこれからも続く。

(神田・棚山)

コーナー

○第201回ぶらっとナイト

●とき 7月11日(金) 午後7時～ 雨天決行！
●ところ 実施商店街

○しれとこ夏まつり・しれとこねぶた

ねぶた運行 ●とき 7月25日(金)・26日(土) 午後7時～
ねぶたフェスティバル

●とき 7月26日(土) 午後2時～

●ところ 道の駅しやり交流広場

弘前物産展 ●とき 7月24日(木)・25日(金)・26日(土)

●ところ 道の駅しやり

○町民仮装盆踊り大会

●とき 8月15日(木) 午後7時から

●ところ 道の駅前特設会場

●テーマ 映画キャラクター

消費拡大支援

商品券&プリペイド事業

7月2日(水)、道の駅しやり・ウトロ道の駅シリエトクにおいて、今年度1回目となる町内消費拡大事業が行われる。商品券の使用期限は8月31日(土)まで。各事業所の換金期間は9月12日(金)までとなっている。第2弾は11月下旬に予定されている。



永年勤続従業員表彰

(受賞者)

●5年：椿原里志(株丸あ野尻正武商店)・森田利春(株元木金物店)・黒田愛・石本隆博・緒方恵大・小柳勝

(株)知床グランドホテル、邊見宜仙(有)小林配管工業所、石川康晴・佐藤忠広・佐々木勝弘・高橋安・小松繁勝・小河康成(株)中田建機、小口茂(有)フジタ住建、紺野泰寛(サンエイ工業(株))、木村敏昭・山吹純(有)すぎやま

●10年：田中公大(株)知床グランドホテル、本宮憂太(大成工業(株))、北村英幸(有)小林配管工業所、片岡雄

次・旭映美・斉藤広美(株)丸米産商)・大槻敏文・阿部和彦(株)中田建機)・福井良美(有)フジタ住建)・古屋裕司・木村ゆかり(有)すぎやま

●15年：石井明美(株)長屋工業)・山下雄治(株)遠藤工務店)・吉田和彦(株)ユートピア知床)・岩井潤(辰三興業(株))・本宮尚孝(星印刷工業(株))・今野義広・佐々木健一(有)小林配管工業所、荻原賢治(株)中田建機)・里田真一(サンエイ工業(株))、吉田由一(株)美咲興業)・江尻剛(有)すぎやま

●20年：土屋賢一(株)元木金物店)・白木のり子(株)アリサワ)・内藤文彦(斜里アポロ石油(株))・福田浩二(株)

●オホーツク管内商工会連合会長表彰
彰：杉江雄(株)中田建機

●北海道商工会連合会長表彰
太田朝子(有)ホーク美容室)・岡本健太(サンエイ工業(株))・立花幸司(今電気(株))

はまなす



*少しの時間と疲れ
れているなると感じたとき一寸と行きたくなるところがある。W自治会

長さんのお宅である。会長曰く、町の活性化を図るには「よそ者、若者、馬鹿者」が必要であると言う。

*十勝ワインの生みの親池田町元町長、丸谷金保さんが逝くと大きく報道されていた。気になる!!早速調べ

てみると丸谷町長は37歳で町長に初当選、町の財政は破綻状態。そんな

ある日、町内に自生している山ぶどうをヒントに日本ではまだ本格的な

ワインが受け入れられていない中、町営でワインの醸造に乗り出したのである。町職員をドイツに派遣し修

行させ、色んなつてを頼りに奔走した。1963年1歳の試験醸造に成功するが商品化には至らなかった。

その後も忍耐強くドイツで習得した技術と品種を替えるなど工夫を凝らし、1975年、23年の時を経て商品化に成功。現在ワインの収益トータルは20億円以上となり町の財政を潤すことになっている。

*さて、斜里町の活性化はどうなっているのだろうか、ここ数年明るい話題が少ない気がする。そう思うのは私だけでしょうか? 「よそ者、若者、馬鹿者」が育つそんな環境、土場づくりが急がれているのでは。

そして、最後に斜里岳は何を思うのだろうか… (竹田)

ウトロ石油)・皆川武人・佐々木優子(株)ユートピア知床)・山下浩子(辰三興業(株))・南出秀樹(居石ボデー)・太田肇(大成工業(株))・高橋早苗(有)小林配管工業所)・高博司(株)中田建機)・佐々博之(今電気(株))・栗野洋子(有)丸水北見商会)・岡本健太(サンエイ工業(株))・太田丈喜(株)美咲興業)